

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「伊那市中学生キャリアフェス」開催
事業主体 (連絡先)	伊那市中学生キャリアフェス実行委員会 伊那市下新田 3050 番地 伊那市教育委員会事務局学校教育課
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 272, 350円 (うち支援金: 670, 000円)

#### 事業内容

伊那市キャリア教育憲章の理念、『「地域で子どもを育てよう」「子どもは地域の宝・地域の未来」』に基づき、市内の中学生が「地域を知り」、「地域の人とふれあい」、「地域の未来を考える」日、キャリアフェスを体験することにより、伊那市への愛着を深め、将来の伊那市を支える人材育成につなげるため、伊那市中学生キャリアフェスを開催した。

- 1 日時 平成30年11月2日(金)
- 2 場所 伊那市民体育館  
メインアリーナ・サブアリーナ
- 3 対象者 市内全中学校2年生
- 4 参加生徒数 647人
- 5 出展ブース数 105



【全員集合】

#### 【目標・ねらい】

- ①生徒にとって：地域の産業、文化を知ることを入りに、地域の大人に出会い、触れ合い、話し、考える中で、自分の未来を考え、想像する一助とする。
- ②出展者にとって：多くの生徒、教職員に対して企業の思いや事業を伝える機会とするとともに、この地で生活する、生きる一個人としての考えや思いを子どもたちに直接伝える機会とする。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

生徒・出展者それぞれの感想から、多くの気づきを得た1日となったことが伺える。

##### ①生徒の感想から

伊那市に生まれたのに、伊那市の文化のことを知らなかった／話してくれた大人が、みなさん伊那市が好きなんだと分かった。その大人の話聞いて私も伊那市が好きになった／将来は伊那市を離れようと思ったけど、伊那市にいてもやりがいのある仕事があると知れた

##### ②出展者等の感想から

中学生と直接接することのできる貴重な機会であり、中学生へのプレゼンは新鮮で、初心に帰れた／子どもたちが積極的に掛け合いができ、大人からの一方通行でなかったことが良かった・大人も地域を知るきっかけになった

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

参加した多くの大人と中学生が、地域のことを知り、考え、語り合い、お互いが笑顔で過ごせた1日を作り上げたことは、来年度の開催に向けて大きな力となった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

6中学校合同で行った第1回キャリアフェスは、運営面含め、来年度への課題もあるが、生徒と大人がお互いの夢や地域の未来について語り合った、楽しいワクワクする時間であった。出展者からは「出展者からは「続けていくべきだ。」、「来年はもっと工夫します。」など、来年へ向けた感想をいただいている。

来年度も、次世代を担う子どもたちが、この地域でいきいきと働き、暮らす大人と出会い、気軽に話し合えるキャリアフェスを目指していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある